

玉名女子高等学校 教育活動の方向と構造

令和3年4月5日 校長 鈴木田光孝

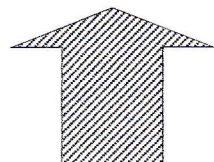
脈々と受け継がれてきた本校の「学校経営概要(令和元年度版)」から、以下に簡潔にまとめた。
やはり、本校教育の根幹は、創立者新穂登免先生が詠まれたとされる短歌3首の心を拠り所とする三綱領を掲げた「建学の精神」の具現化。

- 質実剛健(質素で誠実な心と強く健やかな身体をもつ)
- 良妻賢母(家庭にあつては、賢く立派な女性であること)
- 温雅貞淑(穏やかで慎み深く上品で、困難・誘惑に負けない強い意志をもつ)

(国家・社会の有能(有為)な形成者の育成) 国の「学校教育法」高校教育の目標の一つでもある(3つある)

高い知性と豊かな教養を備えた、健康にして明朗な女性、有能な国家社会の形成者を育成する

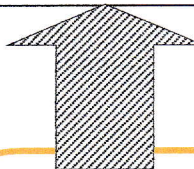
上記を達成するために、本校ではどのような教育活動を行うのか…



普通科・ビジネス科・食物科・看護学科を有する本校は、その多様な専門教育を通し時代の流れに遅れることなく、以下のような力を持つ生徒を育てることにより、その精神を具現化する

＜目指す生徒像＞ 県北における女子教育の殿堂としてその使命を果たす

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| I、自主的、個性的に生き、責任を重んじる人 | IV、生産、勤勉にして勤労を尊ぶ人 |
| II、研究心に富み、創意工夫のできる人 | V、心身共に健康で苦難に耐え、将来の希望に生きる人 |
| III、社会的視野に立ち自他の人格を尊重し、正義と平和を愛する人 | VI、礼儀・作法を弁え、挨拶がきちんとできる人 |



例えば、「ソサイヤティー5.0」といわれる超スマート社会を国は目指している。ならばそれに対応できる、資質・スキル等を今後育成する必要がある。

必要な資質を追加した新たな「SI」の構築をこの8月から始める予定である

その生徒像を実現させるために、どこに「力点」を置くのか＜学校運営の指針＞

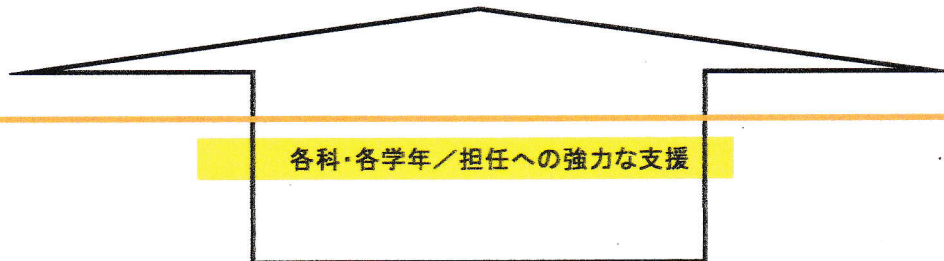
そのような生徒を育てるために、日々、各科や各学年そして各部活動等で工夫ある教育活動が実践されている。以下は、指導のポイント。

● 基本的努力事項(人間尊重、人間性確立の教育を行う)…道義心涵養/理性的行動/しつけ/相談活動の充実

- ①よい学校をつくる…職員の和・協体制/止まる水は腐敗する(常に前進のみ)/女子校としての使命を果たす…
- ②よい教師になる…熱意情熱は通ずる/同僚・生徒を認める/組織の一員となる/目配り気配りを忘れない/準備を万端に/終始一貫の言動を/社会の先を読んだ動きを…
- ③よい生徒を育てる…人生の目的を悟らせる/自主自発・創意工夫の態度育成/対するものへの尊敬の念/読書勉学の習慣…
- ④よい教科指導をする…教師自身の専門性の深化/予習重視の指導/学習環境の整備/自学の姿勢を育てる…
- ⑤よい生活指導をする…心の零線に触れる指導/指導はカウンセラー的姿勢で/全ての教育活動が好機会であり心を育てる…

● 今年度の具体的努力目標が以下(毎年の学校評価等にてチェック)

1. 基礎学力充実のための取組みと専門性習得のための指導の強化…マナトレ、朝読、自学ノート、授業力向上、職員の協同体制
2. 基本的な生活習慣の確立を図るための取組み…指導の徹底と職員の目線合わせ、職員が自ら範を示す
3. 文武両道の実現…部活動の新活動方針を策定し浸透を図る
4. 人権・同和教育の推進…生徒自身の意識を上げると同時に、職員の言動・ハラスメントにも厳しい自己点検の目を入れる。
5. 働き方改革の推進…業務改善の推進、部活動の在り方点検、出退勤管理の推進と意識改革、指定休業日の指定等。



校務分掌等… 生徒に直接関わる「各科・各学年/担任」の動きを支援しリードするのが以下の部署

総務部	教務部	生徒指導部	進路指導部	広報部	学校保健部	事務部	図書館	人権教育
国際交流、寮務等の各種委員会			学科会					

規則正しい生活習慣、良好な食生活、家庭学習の習慣化、読書習慣の定着、思いやりの心の育成…。これらは深部の学力として、つまり日頃「数値」として表面には出ないが、質の高い学力の土台をなす「見えない学力」として、建学の精神の具現化に深く関わるものである。